



新春のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年元旦、能登半島地震が発生しましたが、被害に遭われ、今もなお、不自由な生活を余儀なくされている方々へお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興再建をお祈り致します。

昨年は、自然災害に始まり、日銀のマイナス金利政策解除、不安定な為替相場、石破新内閣発足等、様々な変化のあった一年でした。建設業においても、建設業法等改正が成立し、公布されました。この法改正は、担い手の確保・労働者の処遇改善・働き方改革・生産性向上を目的としています。業界にとっては、どれも喫緊の課題であり、持続可能な建設業の実現の為に必ず解決していかなければならない課題です。

少子高齢化、人口減少に伴い、建設業の就業者人口は年々減少しています。IT関連やクリエイティブな仕事も増え、就職には多種多様な選択肢が広がり、転職にも抵抗がない時代になりつつある今、危機感を覚えずにはいられません。過酷な作業環境に対しての負担軽減 労働に見合った対価、切断穿孔業に対しての認知向上とイメージアップに業界が一丸となって取り組んでいきたいものです。

今年の干支は巳年です。「巳」という文字は、冬眠していた蛇が春になって地表に這い出す様子を表しているとの事です。企業経営も蛇のように、外部環境の様々な逆風を乗り越え春の訪れと共に成長に繋げていく、その様な一年になるよう祈念しまして年始の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会
理事長 小澤 純

目次

新春のご挨拶 小澤理事長	1	特別座談会 東海地区編	13~22
第73回札幌例会報告	2~7	施工計画の手引掲載のお知らせ/事務局便り	23
同懇親会報告	8	JCSDA会員名簿	24
例会プレゼンコーナー	9~12		

JCSDA 第73回札幌例会

日時：令和6年10月9日(水)
場所：札幌 札幌プリンスホテル
別館国際館パミール

◆第73回例会

出席31社47名 司会進行 広報委員長 久保 達博氏 (株)シブヤ)

1. 開催宣言

15時00分 進行役久保氏による開催宣言が行われ、例会スタート。



司会進行役 久保氏

2. 理事長挨拶 小澤理事長(コンクリートコーリング㈱)より開会挨拶

皆様、第73回札幌例会にお越しいただきましてありがとうございます。

札幌で例会を行うのは私の記憶が曖昧なのですが、10年前位にジャスマックプラザホテル(2016.10.5第57回例会 札幌)で行って以来だと思えます。本日は天気も良く、朝晩はさすがに一桁台の気温らしく冷えるのですが、昼間は今日みたいに晴れると暖かくて本当に運に恵まれているなあと思えます。最近の情勢でいうと、今日は衆議院解散のニュースがありましたけれども、石破さんが総理大臣になって選挙前は緊縮財政とか言って公共工事はどうなるかと思ったり、選挙後には岸田さんの路線を引き継ぐということであったり、選挙の行方もあるのですが、私たちの仕事は公共工事がメインですので、非常に目が離せない。これからしっかり見守って動向を注視していかなければならないと思えます。

いずれにしても各地区その時期によって繁忙期・閑散期というものそれぞれあると思うので、今日は50名程の業界の方々にお集り頂いていますのでこの後の懇親会も含めてコミュニケーションをとりながら情報交換をして、お互いに有益な時間をお過ごしいただけたらと思います。そのお願いをしまして、手短ではありますが、挨拶とかえさせていただきます。今日は宜しくお願い致します。



小澤理事長 挨拶



例会風景

3. 地区代表報告

① 北海道地区代表 第一建興江島株式会社 相羽浩貴氏

北海道の夏状況も大きく変わり以前は7月中旬からお盆くらいまでの猛暑期間が9月中旬まで伸びてしまい熱中症の災害事例が1番多かったのは9月でした。雪害の多い寒い冬が短縮されることを望みながらも加速していく地球温暖化には大きな危機感を感じる次第であります。稼働でいえば今が一番ピークになっております。昨年同様大型工事でいえばNEXCO発注のリニューアル工事10月末位を目処に終わりが見えてきました。この工事については、年間売上げの40%以上にあたりかなり会社に大きく影響するところであります。

NEXCO以外の物件でいいますと北海道新幹線に関わる工事は春から現在まであり、当社でも全体の10%位ワイヤーソー、切断等の仕事量はありました。2030年の開業を目指していた札幌延伸工事を巡っては、地質不良などで3～4年程度は遅れが生じているとの事です。泊原発については再稼働に向けて防潮堤の設置工事に伴う工事があり時期が延びる可能性があるとの事です。ダイヤモンド工事等は春から徐々に動き出してきました今後に期待したい所です。 Cutter 工事(舗装切断)については例年とあまり変わりはなく水道工事が少なくなったが道路改良工事が増えて穴埋めになりました。人員はギリギリで組んでおり増員したい所ですが中々新しい人員を確保できない現状です。昨年お話ししたCutter単価の値上等は変わらず継続し良好ではあります。これから冬に向けては、毎年ですが11月からの非出水期に河川工事がありますがそこで橋梁撤去工事や樋門撤去工事等がどれだけあるか。Cutter工事だけに限らず特に大型工事では人手不足になり協力会社の取合いになり色々と悩まされる事があった今期だったと思います。



北海道 相羽理事

② 東北地区代表 東北Cutter株式会社 畠山匡功氏

いつも大変お世話になっております。弊社高橋の代理で出席させていただいております。東北Cutter株式会社仙台営業所の畠山です。例年同様、東北全般Cutter工事が少なくなっており、その少ない工事量をカバーしてきた、橋梁補修工事も青森を初めと

する、北東北の発注量が少なく、橋梁補修工事をメインでやっている会社さんも伸び悩んでおります。自社で抱えている、防水班、土木部が遊ばないように他県に応援に出向き工事をこなしております。また、岩手ではカッターの汚泥処理が設計に組み込まれている工事が多く、ウォーターリサイクルを使用しての作業となり、カッターの1日の施工量が伸びなかったり、作業員1名で行かせたい所を2名にしなければならなかったりと苦勞しております。宮城、福島では一般道のカッター工事は少ないですが、年明けから橋梁補修工事が多く発注されており。コンクリートコアドリルによるアンカー削孔、アンカーバーのエポキシ樹脂による定着の工事が多くあり本社の橋梁班に作業応援を貰いながらなんとか工程に乗せ進められている状況にあります。また、NEXCO管内での橋梁補修工事では、はく落防止の工事が多く発注され、ウォータージェットでの表面処理が1工事あたり1万㎡以上の施工量があり、ウォータージェット班や協力会社も忙しく稼働しておりました。自社でハイプレッシャーポンプを購入する会社や、元請けでウォータージェットの施工班を作ったりしているゼネコンが多くなってきており単価が下がらないように交渉を行っております。床版取替工事についてはGW明け、お盆明けと、施工しており、残りの工事として11月初めからスタートし、12月中旬前に規制を解除する工程での工事箇所もあります。当社は橋梁班もいるので、伸縮装置のはつりによる撤去や、伸縮装置撤去後のウォータージェットはつり工事も追加で依頼され、その工種を工程内のどこに入れるのかがとても苦勞する所です。床版上ではコンクリート削孔、地覆・壁高欄のワイヤーソー、床版カッターと施工を順番に進めて行く中、伸縮装置まわりを立入禁止にして作業するので、工事の進捗が悪いと早出や残業をしてもらうなど、工程管理する職長はいつも悩みながら作業を進めている状況です。東北地区の北の方では早い時期ですと11月頃に雪が降り、厳しい東北の冬が始まります。今後もありがたいことに施工させていただきますので、他の工区との絡みや、多くの協力会社さんとの連携を取りながら、事故やケガのないように努めていきたいと改めて思います。最後になりますが、今後も協会の皆様初め、各メーカーさんには無理難題を言うこともあるかと思いますが、この協会でのつながりを最大限に利用しながら東北地区でのカッター工事業を少しでも盛り上げられるよう努めて参りたいと思います。



東北 畠山代理

③ 関東地区代表 第一ダイヤモンド工事株式会社 阿部広氏

2024年首都圏（1都3県）の設備投資計画は、製造業が増加に転じ、非製造業も大幅に増加することから、全産業では大幅に増加するものと思われます。なかでも東京都心における大型再開発案件や物流施設の新設や空港の能力増強そして鉄道の輸送能力向上・安全対策工事など多くの業種で増加することが予想されます。また公共工事も国土強靱化5ヵ年計画の推進で構造物のリニューアル工事が今後も発注されます。都内で大規模再開発案件が次々と計画、完工されており、森ビルが進める虎ノ門・麻布台エリアに事業費6400億円を投じて既に2棟が完成し、もう1棟の高層ビルが建設中です。すでに開発した六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズとともに巨大プロジェクトが進行しています。また東京駅周辺では高さ日本一の385m トーチタワーが2028年に完成する予定です。これは三菱地所が事業5000億円を投じて62階建の超高層ビルとなります。次に内幸町に東京クロスパーク構想として都内最大級の再開発が始まります。延べ床面積110万㎡となる巨大開発の事業者はNTT・第一生命・帝国ホテル・東京電力・など10社で2037年完成予定です。また新宿駅周辺では100年に一度の再開発が始まっています。京王電鉄とJR東日本が事業主体の西南口再開発計画（高さ225mビル）が建設され隣接して小田急電鉄・東京メトロ・東急不動産が事業者の西口地区開発計画（260mの超高層ビル）が始まり、新宿全体を活性化する「新宿グランドターミナル」が2028年完成予定で他にも品川・渋谷・池袋など100カ所の再開発が進められ今後は都内の街並みが大きく変わって行きます。



関東 阿部理事

鉄道工事関連工事ではリニア新幹線品川駅・神奈川県駅の建設が進められ、遅れていた山岳部のトンネル工事も県知事の交代で2031年完成予定に向かって進行しています。また羽田空港においては空港アクセス線整備としてトンネルと駅舎が港内に建設中で、完成すると東京駅から18分に短縮され利便性が向上します。

高速道路関連工事ですがNEXCO東日本・中日本管轄の東名高速・中央道・関越道・東北道・上信越道小田原厚木道路など各所でリニューアル工事が行われています。また首都高速道路管轄の1号羽田線、東品川栈橋、鮫洲・高速大師橋などの工事が行われています。新たに首都高速の日本橋地下化本工事が本格的に始まり、事業費3200億円をかけて2035年完成させてから、その後5年かけて日本橋川にかかっている既設橋を撤去予定です。

空港関連工事ですが成田空港においてB滑走路延伸、C滑走路新設の工事が始まっています。以前から検討されていた旅客ターミナルはワンターミナルのロングピア型に決定しました。今後はアクセス鉄道の複線化など都心からの利便性向上・輸送力向上の検討がなされ、第一段階の事業費8000億を投じ2040年以降に完成予定です。

水力発電関連リパワリング工事ですが、東京電力は29カ所の増強工事予定し600億円投資します。電力各社は原子力発電所の再稼働工事を終えた後に再生可能エネルギーに設備投資を増やすと思われます。

上記の様に都内および関東地区においては大型工事が目白押しとなっており、今後は工事規模が大きく一社ではやりきれない規模の工事が予想されますので、当協会の会員が協力して工事を進められるように願っています。

④ 東海地区代表 江島産業株式会社 稲積雄司氏

お疲れ様です。東海地区の中日ドラゴンズは3年連続最下位に沈み、寂しく寒いシーズンでしたが、特に東海地区の名古屋は猛烈な暑さでした。25度以上の連続夏日は6/29～10/5までの99日間、30度以上の連続真夏日は7/15～8/27までの44日間、35度以上の連続猛暑日は7/25～8/18までの25日間、10/5までの猛暑日の合計は39日でした。そして熱帯夜から解放されたのが、つい先週のことでした。弊社も6年前から空調服等の熱中症対策をし、毎年空調服のバージョンアップをしています。毎年上がる気温に追いついていない現状にあります。来年度は、冷却機能付きの空調服の導入を考えておりますが、社員の健康維持に必要十分であるか不安に感じております。



東海 稲積理事

本年度は一昨年に比べて24日の休日増加、加えてご紹介した暑さの中では生産性の低下は否めない状況となっております。私の不徳の致すところ、効果的な策を打てていないのが、一番の原因と反省しております。ドリリングやウォールソー及びワイヤソー等の定点での施工では、テントやスポンクーラー等の暑さ対策が可能ですが、ロードカッターでの移動しながらの作業では対策が不十分となります。メーカー各社様には日々開発のご苦勞の中にあると承知しておりますが、作業環境対策もあわせて考えていただくと幸いです。国土交通省中部地整管内では、東海環状自動車道・23号蒲郡BP・北勢BP・島田金谷BPの4事業42.6kmが6年度中の開通を目指して進行中であり、それに伴って大型物流施設の建設と連絡道路建設が活況です。NEXCO日本では、東名・名神・東名阪・中央道のリフレッシュが進行中、新東名・新名神では拡幅及びPA・SAの駐車場拡幅整備が行われております。東海地区の東邦ガス関連工事において、テールゲートリフターによるカッター機昇降時にカッター機転落による重傷事故が発生し、テールゲートリフターでの昇降作業時は必ずゲートストッパーを使用するよう協会会員各社へ再度展開周知していただくよう要請がありましたので、ご報告させていただきます。

⑤ 関西地区代表 コンクリートコーリング株式会社 藤尾浩太氏

関西では来年（2025年）4月より、「大阪・関西万博」が開催されます。期間は6か月間と長期に亘ります。場所は大阪湾の埋立地のひとつ、夢洲（ゆめしま）です。開催期間中は、現場によっては工事中断の影響を受ける心配がありますので、建設業関係者にとっては出来高に直結する問題でもあります。過去にマスコミが開催について、ネガティブな報道を行い論議がありましたが、最近ではその話題も落ち着き、外国パビリオンの一部が間に合わない見込みもあるものの、話題はチケットの売れ行きや来場者の行方に転換しているようです。関西経済界も色々な形で応援をしており、是非成功することを願っています。一方で、来場者の輸送力については、大きな課題があります。



関西 藤尾理事

加えて夢洲では、IR会場（統合型リゾート施設）も隣接しており、心配されていた事業者が違約金無しで撤退できる権利「解除権」を放棄し開業がほぼ確定になりました。これらを受けて貧弱なアクセスを改善すべく、11月から有識者を集めた「夢洲アクセス鉄道に関する検討会」が始まります。プロジェクトが前進すれば、主にJRや京阪電車、阪神電車、大阪メトロが関係する新路線の建設や延伸工事が期待されます。現在IR会場では2029年秋頃の開業を目指し、基礎工事が進捗しています。初期投資だけでも1兆800億円を見込んでおり、東京の後追いでは「大阪らしさ」が出ないこと、ギャンブル依存症を心配する声など課題もありますが、ユニバーサルスタジオに続く大阪ならではの特色の一つと成り得る、世界から人が集まる一大観光拠点として大きな期待を集めています。また新大阪駅周辺を一体で開発する検討部会が開催されており、今回は近隣の広大な浄水場敷地を再開発する計画が盛り込まれました。46万㎡の敷地の内、甲子園3個分に相当する12万㎡の敷地を活用して、商業施設やオフィス、広場の設置を検討するとされています。この新大阪駅は新幹線と在来線大阪駅が離れて立地しているものの、今後は北陸新幹線やリニアが延伸される拠点になっています。長期的な計画になりますが、これからも具体的に決まっていくものと思います。

⑥ 中国・四国地区代表 株式会社コンセック 野田隆氏

今年は昨年以上に猛暑日が続く現場から作業員の悲鳴が多く出て対応に苦慮し熱中症対策はもちろんの事、桟橋撤去では1日の作業時間内で休憩時間を多く取る様に元請けから指導が有り昼食以外に午前中に3回・午後から3回程度を基本に作業を進める事に

なり作業の進捗が遅れる事態となっております。今期の動きは、4月5月で大型繰越案件が少なく上期前半では厳しい状況が続いた。中国自動車道の床版撤去はいつもの様に動いており来年度の案件も発注されて現在計画が進んでおります。他には橋脚・橋台の耐震補強工事が有り併せて工事が進みます。毎年中国地区では水力発電所の設備の交換が3件程度発注されリニューアルが進んでおり現在、他の案件では中電コンサルから問い合わせ等が来て既設撤去（ワイヤーソー切断）の提案をしております。その他の大型案件では栈橋撤去（1期・2期・3期）ダム解体撤去などが有り他製鉄所のラインの解体や銅の精錬所（転炉）の改修工事などが動き出します。四国地区で



中国・四国 野田理事

も高速道路の橋梁耐震補強工事も引き続き発注されております。他にも防波堤撤去及び護岸改修工事などもマリコン等からの問い合わせが来ています。最近乾式工法での提案も多くなり環境に優しい（SDGs）施工を進めており油圧式ワイヤーソーの他に電動式ワイヤーソーも併せてPRしオイル漏れで環境を汚さない提案を進めております。しかしまだまだ湿式の切断工法も多く有り現場では濁水処理を現場内で完結させる機械の提案も最近進めています。今年から2024年問題の残業時間の上限規制がスタートしており個人・個人の残業時間を把握する為にはDXを活用する動きを進めて行かなければいけないと思ひ色々なアプリソフトを検討しています。他に最重要課題が新卒の人員確保がなかなか進まない事が頭を痛めています。高等学校の進路指導先生などに挨拶にうかがってもどこの学校でも就職希望者の取り合いが厳しさを増しています。（就職希望者100名に対して求人数2,000社）大企業が上位から引っ張って行きます。あとは、中途採用（スカウト）でまかなうしか有りません。

⑦ 九州地区代表 株式会社コムカット 河口幸史氏

皆さんこんにちは。九州の状況についてお話ししたいと思います。先日九州の施工会社20名位の集まりが沖縄県でありました。その中でのお話は発注高や仕事量は昨年と同じ位で九州各県によって内容が色々ありました。北九州地区ではアスファルトの鉋さがい厚く80センチ切りが忙しいのと民間工業地帯でのワイヤーソーが施工実績のある会社が選ばれている。8月に震災にあった宮崎県では震災関連工事が通年行われており被害は少なかったようです。鹿児島県の馬毛島の件は現時点で人件費や輸送費材料費の高騰で工期が3年おくらせて現在宿舎や栈橋の整備を行っております。離島なので3日間位の工事でも行き来で1週間以上必要で施工単価も3倍位で施工している。



九州 河口理事

ダイヤモンド工事関連の仕事は来年から多くなる。沖縄県では米軍基地関連が安定して発注されている。当社では福岡空港の第二滑走路が来年3月に運用が開始されるのに伴い灯火のコアや標識の切り替え工事等で連日作業を行っている。人手不足の現状では各社で協力して、仕事を漏らさないようにしていかなければならない。四月から各社施工単価を上げて見直しましたが10月位から効果を感じられた、これからこの業界の人材確保に良い材料になればと思います。

4. 委員会報告

① 企画委員会 田中芳宜委員長 （第一ダイヤモンド工事株式会社）

こんにちは。企画の方ですが、先月、来期に展示会向けの勉強会を行いました。結論としては、色々意見の交換をしましたが、先程の理事会でもお話しさせていただきましたが、来期の展示会は見合わせさせていただいて色々皆さんからご意見いただいておりますので、継続的に勉強会を開催させていただき、協会を認知して頂けるように色々な案も出ておりますので検討させていただきます。



企画 田中委員長

② 広報委員会 久保達博委員長 （株式会社シブヤ）

広報では定期企画のニュースレターの63号を8月に発刊し、現在ホームページにて公開をしております。ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。内容としましては、総会記事他、諸々盛りだくさんで掲載をしています。現在冊子もお送りしていますが、ホームページにも掲載がございます。次回ニュースレターこれは、2025年2月の発刊を予定しております。こちらは、本日開催の札幌例会記事そして、今月末に名古屋にて開催される、継続企画でございます座談会企画を掲載予定です。以前もご報告したかもしれませんが、この座談会企画ここ数年にかけて開催してまいりました。一通り、各地域を一巡しある程度回り切りましたので、これで一区切りとしたいと思います。これに関連して、各地



広報 久保委員長

域の非常に多くの方々に参加して頂きました。結果座談会企画は多岐に渡る話題や皆さんの会社に対する思いや経験、JCSDAをどうしていきたいか等、非常に有益な情報が集まり成果を感じました。定期的な、ワールドオブコンクリートや総会例会記事はあるのですが、やはりなんらかの企画を今後考えて皆様にご提案し皆様に有益な記事となるように考えていきたいと思います。併せて、毎回お願いになりますが、皆様からご提案があれば事務局迄ご意見を上げていただけたらと思っております。今後とも、宜しくお願い致します。

③ 調査委員会 砂川高寛委員長 (第一カッター興業株式会社)

こんにちは。例年の事です、7月に令和6年度版の積算資料の更新をさせて頂きました。最新版の積算資料は協会のホームページからダウンロードして頂けますので、皆様ご活用いただけましたらと思います。毎回お願いにはなりますが、調査委員会としましては、積算資料皆さんの方から、実情に合っていない。こうしてほしいという要望をいつでもお受けしております。調査委員会の私か、事務局までご連絡を頂けたらと思いますので、宜しくお願い致します。



調査 砂川委員長

④ 国際委員会 渋谷憲和委員長 (株式会社シブヤ)

既に会員各社様にはご案内がいていると思いますが、1月19日日本を出発致しまして、25日に帰国するというスケジュールでワールドオブコンクリートツアーのご案内を出しております。(投影資料をもとに)こちらがスケジュール表になります。2024年のツアーと違うところは、ロサンゼルスに帰ってきてからユニバーサルスタジオに行っていたのですが、時間がタイトなので今回はロサンゼルス街の散策をしたいと思います。若い人達が、海外の製品、そして海外の状況をもっと肌で感じられるようにしたいと思います。何十年も続けているこの業界ではロングランの企画です。是非とも宜しくお願い致します。そして、来年4月8日から13日迄ドイツのミュンヘンでバウマ展示会が開催されます。ツアーはすでに締め切られていますが、その会場で、アワードセレモニーというものが開催されます。このアワードセレモニーというのは「素晴らしい作業」と「素晴らしい製品」の発表です。施工会員、メーカー会員両方にチャンスのあるダイヤモンドアワードになります。エントリーの締め切りは今年の末になります。エントリーはとても簡単になりますので、是非IACDSのホームページよりエントリーをお願い致します。「こんな仕事だと受けないんじゃないかな」というご意見もあるかもしれませんが、日本の業者がやられる仕事は他の国の仕事に比べてものすごく手が込んでいます。皆様の技術を全世界に公表するチャンスですので、エントリーをお待ちしています。最後に、私たちJCSDAはIACDSに加入しています。現在アメリカの会長ですが各国が加盟しています。日本も一時期副会長迄させて頂いていたのですが、この会は3か月に1度会議を行っております。今はオンライン会議ですが、今度10月29日に来年のバウマに向けての会議が開催されます。あまり見えない話になりますが、JCSDAもIACDSに貢献させていたという話をさせて頂き、私からの報告とさせていただきます。



国際 渋谷委員長

⑤ メーカー部会 安井雄二メーカー部会長 (株式会社ノリタケマシントテクノ)

毎年ご報告させていただいていますダイヤモンド工業協会からの月別販売高推移に関して2024年度につきましては7月まで集計データが出ていますけども、ブレードに関してはリニューアル工事の関係か前年並み。ビット・ワイヤー・手持ち工具に関しては前年よりさらに落ち込んでいる状況でございます。これから工事が繁忙期を迎えますので今後に期待をしたいと思います。本日はモノづくりについて感じていることをお話しさせていただきたいと思います。製造業に関しましては、大企業を除きますと圧倒的に中小規模の会社が多くなりまして、少し古いですが、2021年度の企業数は国内で33万5,500。内、84%の28万3,000社が小規模企業との事です。その小規模企業が2021年から5年さかのぼると5年間で約7,000社、さらにさかのぼって10年間のうちに約90,000社が減少しているようでございます。現象の要因につきましては、「後継者不足」「人手不足」「労働者の高齢化」、どの業界も同じような問題を抱えているということでございます。後継者があり継続される企業様も数多くあることも事実ではありますが、最近はGX化が進み、工場の中には最新鋭の機械が並んで最適な工場だと感じますが、一方、我々のような建設小型機械は台数がさほど出るわけではないので、こういった部品加工が少なくなってきた感じがします。肌感覚でお話しさせていただくと、昔ながらの手作りの職人さんがかなり少なくなったような気がします。こういった点では精度の上でも苦勞を感じているところでございます。ただ、このような中でも私共メーカーはより安全に配慮し、作業者



メーカー 安井部会長

の方の負荷軽減など常に頭に置きながら新しい機械・装置を提供し続けることを続けなければなりません。先程も稲積様より、「暑さ対策」を考えるようにとのご要望を頂きました。確かに猛暑の中、エンジンを載せたり装置からも発生する熱が作業の方の負荷になることを改めて認識させていただきました。まだ年度内出来ていませんが、メーカー部会も皆さんの予定を調整しながら開催したいと考えております。この後、各メーカーさんから新しい機械・技術の紹介がございます。施工業者の皆様におかれましては更新の良い機会ととらえていただきこの後のプレゼンテーションをお楽しみいただけたらと思います。

5. 技術情報 プレゼンコーナー （関連記事P9～P12に掲載）

① 電動式コンクリートカッター DRC-250E （関連記事P9掲載）

電動目地太郎ミニ MC-30E （関連記事P10掲載）

株式会社ノリタケマシンテクノ 加藤 大助氏

② N-MOS（操作データ表示器）搭載 Bau800（関連記事P11掲載）

仲山鉄工株式会社 仲山 浩太郎氏

③ 電動式遠隔解体ロボット DXR（関連記事P12掲載）

ハスクバーナ・ゼノア株式会社 長谷部 吉紀氏



プレゼン風景

6. 事務局報告 落合事務局員

落合事務局員より以下の報告が行われた。

会員移動 施工会員：休会中1社

友の会：退会（株）センチュリー興業

事務局への照会（令和6年4月～令和6年9月迄）



事務局 落合事務局員

7. 閉会の辞 高橋副理事長 （第一カッター興業株式会社）

皆さんお疲れ様でございました。皆さんからの「伝えたい」「知ってほしい」という気持ちが溢れた時間だったと思います。お陰様で予定時間が多少過ぎましたが、お互いにとっていい内容だったと思います。今、建設業の中では地区報告にもありましたが猛暑によって休憩をしっかり取得するなど元請けさんの指示で実際働く時間が短くなっているというケースを多く聞きます。併せて、いわゆる「2024年問題」に対して、クレーン業者さんは15時に帰ります。ダンプの運搬の方も16時に上がらせてくださいというような状況がでていて皆さんもそれによって、実際切断したり撤去に関わる時間が短くなってしまっているかなと思います。そういった状況の中でも、生産性の向上というものが求められているというどこか矛盾した中で難しい課題を乗り越えていかなければいけない状況になっていると思います。そういった中で、施工会社それからメーカーさんがしっかりタッグを組んでそういった課題に向き合っていく。それがこの協会の存在する意義でもあると思いますので、今日これから懇親会もありますので、より一層の懇親を深めて互いに課題に向き合っていくような関係づくりを図っていただければ有意義な時間になると思いますので宜しくお願い致します。JCSDA第73回札幌例会を終了いたします。長時間に渡り有難うございました。



閉会挨拶 高橋副理事長

以上、17時30分プログラムは全て終了し、盛況の中例会は閉幕した。

懇親会

例会に引き続き17時40分より、同ホテルにて屈斜路にて懇親会が執り行われた。恒例の宮崎文隆氏(株クライム)の司会により、小澤理事長(コンクリートコーリング株)の開会挨拶後、後藤理事(東海カッター興業株)による乾杯の発声で懇親会がスタート。参加会員の皆様は大いに盛り上がり、様々な話題に花が咲き、和やかに懇親を深められた。盛況の中20時30分、お開きとなり、散会となった。



懇親会開会 小澤理事長



乾杯 後藤理事



司会 宮崎氏



後 左から 平田氏 長谷部氏 貴島氏
前 左から 宮崎氏 稲積氏 長崎氏



後 左から 後藤氏 安藤氏 津田氏 吉永氏
前 左から 田中氏 河口氏



後 左から 高荷氏 落合(則)氏 阿部氏 箱田氏
前 左から 金野氏 渋谷氏



後 左から 谷詰氏 河崎氏 高橋氏 野田氏
前 左から 太田氏 小澤(格)氏

JCSDA Japan Concrete
Sawing & Drilling
Association



左から 小澤(純)氏 東屋氏 藤尾氏 濱田氏
萩原氏 増田氏



後 左から 加藤氏 相羽氏 仲山氏 西澤氏
前 左から 斉川氏 久保氏 福岡氏



後 左から 五嶋氏 畠山氏 松本氏 清水氏
前 左から 若林氏 落合(え)氏

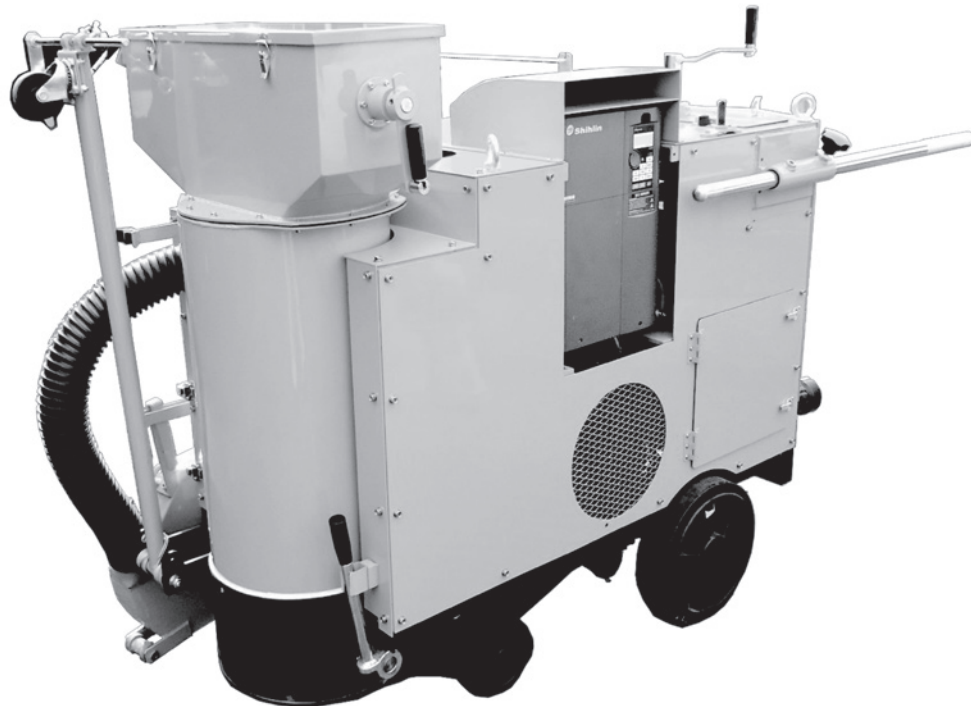


後 左から 安井氏 酒井氏 国司氏 大飼氏
前 左から 佐藤氏 砂川氏

NMT 株式会社ノリタケマシンテクノ

来春発売予定

電動乾式コンクリートカッター 『DRC-250E』



<開発コンセプト>

- ・環境に配慮した電動乾式コンクリートカッター車
- ・電動式(モーター)での乾式25cm切断可能なカッター車
- ・ケーブルコード無しでの搬入、搬出時の回送機構の開発
『特許取得済』

<仕様>

モーター：18.5kW・三相200Vモーター搭載

回転調整：インバーター

全長：1,467mm・全幅：877mm・全高：1,196mm

重量：約580kg

供給電源：三相200V、45kVA以上

電源ケーブル：キャブタイヤケーブル 14sq

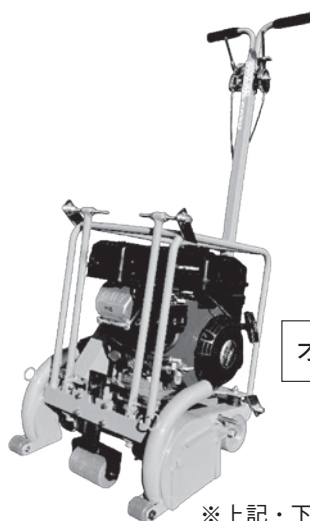
20m+20m可能

NMT 株式会社ノリタケマシンテクノ

来春発売予定

電動目地太郎ミニ

『MC-30E』



オプション：両切り仕様

※上記・下記画像はエンジン式です



<開発コンセプト>

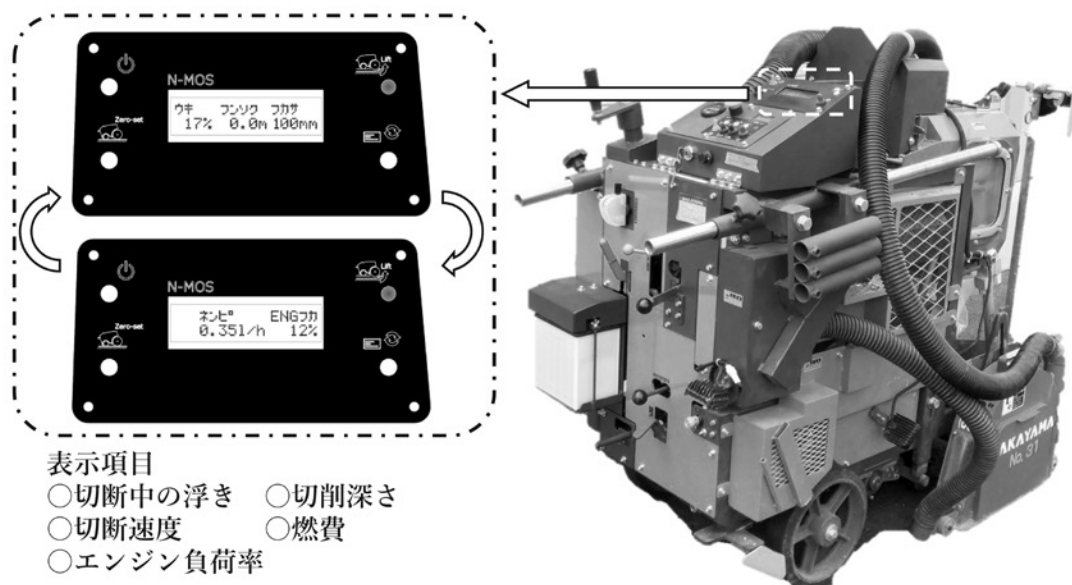
- ・環境に配慮した電動目地太郎ミニ
- ・ポータブル発電機での稼働可能

<仕様>

モーター：2.2kW・三相200Vモーター搭載
回転調整：インバーター
全長：560mm・全幅380mm・全高：1,115mm
重量：約55kg
供給電源：単相200V、5.5kVA以上
電源ケーブル：キャブタイヤケーブル 5.5sq
20m+20m可能

①N-MOS(操作データ表示器)搭載Bau800 2024年度内 販売開始予定！

乾式でも切削深さや切断速度など、機体の情報を確認しながら切削することが可能に！



②AZZ6シリーズ＋N-MOSがNETIS登録！

AZZ6シリーズにオプション品のN-MOS、前方設置タイプのデプスストッパーを装備することで切削深さの管理を可能とする内容でNETISに登録されました！

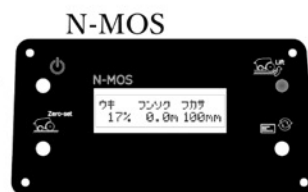
技術名称

「切削深さ管理が可能なコンクリートカッター」

NETIS登録番号：HK-240014



前方設置タイプデプスストッパー



登録対象機材

- ・AZZ6シリーズ(AZZ356/406/AZZ II 506)
- ・操作データ表示器(N-MOS)
- ・前方設置タイプのデプスストッパー

NAKAYAMA
仲山鉄工株式会社

HUSQVARNA DXR 95



専用アタッチメント(別売)



省スペースでパワフルに解体性能を発揮！

コンパクトで持ち運び可能な DXR 95 は、狭い通路や窮屈なスペースから急斜面まで、あらゆる場所で優れた解体性能を発揮します。生産性の向上という点において、DXR 95 は最大の効果を発揮する解体ロボットです。このモデルは、EMC および EU 機械指令に基づくサードパーティの認証済みです。

DXR 95	DXR 145	DXR 275	DXR 305	DXR 315
最大登坂角度: 30度	最大登坂角度: 30度	最大登坂角度: 25度	最大登坂角度: 25度	最大登坂角度: 25度
質量: 589kg	質量: 985kg	質量: 1750kg	質量: 1960kg	質量: 2020kg
V: 380-420(50Hz)440-480(60Hz) A: 32(50Hz) 30(60Hz) 定格電圧: 9.8kW	V: 380-420(50Hz)440-480(60Hz) A: 32(50Hz) 30(60Hz) 定格電圧: 18.5kW	V: 380-420(50Hz)440-480(60Hz) A: 46(50Hz) 39(60Hz) 定格電圧: 24kW	V: 380-420(50Hz)440-480(60Hz) A: 52(50Hz) 44(60Hz) 定格電圧: 27kW	V: 380-420(50Hz)440-480(60Hz) A: 52(50Hz) 44(60Hz) 定格電圧: 27kW
先端最大荷重: 120kg	先端最大荷重: 200kg	先端最大荷重: 310kg	先端最大荷重: 310kg	先端最大荷重: 310kg



Youtubeで
Husqvarna
DXR 95の
動画をチェック



Husqvarna
DXR 95
ホームページ



JCSDA特別座談会 [切断・穿孔業幹部編](東海地区)

当NEWS LETTER既刊47号より、毎年1回の特別企画として座談会を行い、様々な視点から当協会がベースとする切断穿孔業界への意見をうかがい、記事として掲載させていただいております。

今回は第8回座談会を[切断・穿孔業幹部編東海地区]として、同地区の施工会員3社の皆様に参集をお願いし、開催させていただきました。

開催日時及び会場：令和6年10月29日 18時より四間道 右近（名古屋）にて

出席者：河合 信明様（株式会社ウォールカッティング工業 代表取締役）

稲積 雄司様（江島産業株式会社 代表取締役）

後藤 諭様（東海カッター興業株式会社 代表取締役社長）

（席次順）

進行係：久保 達博（株式会社シブヤ 広報委員長 後半進行）

清水 正史（理研ダイヤモンド工業株式会社 広報委員 前半進行）

国司 直克（株式会社コンセック）

仲山浩太郎（仲山鉄工株式会社）

落合 えみ（事務局）

清水：本日はお忙しい中、ありがとうございました。座談会企画を何回かやってきて、ここ名古屋で終了となります。最後になりますので、重鎮の皆様にお酒の力も借りながら、なんでも喋っていただこうと思います。よろしくお願いします。それではまず乾杯をしましょう。乾杯!!

今回自分が歳なので、若い2人に入っていました。座談会がメインの方々より我々の方が多くて如何なものかと思いましたが最後ですから。今までの座談会企画をお読みいた

だいていると思いますが、まず皆さんに自己紹介と今に至る経緯をお話しいたいて、各社の取り組みについて、それとリクルート問題とか。最後にJCSDAに関して今後の展望などを議題としていきたいと思います。2月に刊行となりますのでよろしくお願いします。

久保：ちょっと話が戻るのですが、実はこの企画は2015年から始まっている。コロナで2年休みまして。かれこれ10年がかり。さきほど清水さんが言われたように東京、大阪、福岡、北海道と東北の共催、そしてここ名古屋と。本当に皆様には大変お待たせしましたというところなのですが、今日はよろしくお願いします。

稲積：最初の方は若手の方に話を聞くという会だった。でももう20年、19年前、20年前なら若手でしたけどね。

久保：過去を紐解けば顧問団の座談会で。創設の4名の方の座談会が大好評で。



乾杯で座談会スタート

清水：で何年か空いて、座談会企画を定期的にやろうっていう話になって。

稲積：あれは私の叔父の江島政司が変なカッターの歴史みたいな本を出したもんですから。違うぞ、それはみたいな。やっぱりあの4人でちゃんと真実を語ってもらおうと。

清水：長年業界の歴史って語る方によっていろいろになるんだけど実際に起源は一つだと思います。

切断穿孔業界に至る経緯、経歴

清水：ではどういう順番でお話をいただきましょう。最初のテーマは自己紹介と現在に至る経緯。

では稲積さん自身が今の社長になられた経緯を入社からお願いします。

稲積：私がカッターに関わった経緯というのは東京で生まれた時にうちの父親がカッターの仕事をしていた。江島産業自体は名古屋に来て、独立は昭和43年ですけども。私が生まれたのは昭和38年ですから、創業という点ではその5年前かな。私が38年に東京で生まれた時に、東京江島。江島政司さんが起こした会社。共同経営者みたいな形で。そこからうちの親父が関西に支店を出した時に関西の支店長になった。その後名古屋で独立したんですけども江島の名前はそのままいただいて江島産業となった。元々共同経営者みたいな形でしたから。まあ色々と言句は言われたんですけども。私は3歳まで東京にいて。5歳まで大阪にいて。5歳で名古屋に来ました。東京江島や関西江島に初めてカッターの現場に連れていかれたのは一番最初、小学校5年生くらいのとき。そのころ21のエンジンを積んでいた足蹴りのカッターなんですけど。カッターのこういう音がしている時は調子がいいとき。こういう音がしたときはどこが悪いとか。ブレードの音でこういう音の時はブレードが気持ちよく回ってるときとか。そんなのを叩き込まれた。自然に教えてもらった。中学の頃からは車の運転ができないのに助手で連れていかれて。大学の時もそうですけども大学には1週間に2日しか行っていない。あと4日は会社にいたみたいな感じ。現場のたたき上げみたいな感じで本当に経営の方は全くできないところで、私が38歳の時に父が倒れてしまった。社長交代した時はとても苦勞しました。はちゃめちゃんな性格の様だが、さすがにその時は円形脱毛症になりました。何年間か苦勞した。

清水：平成4年でしたかね。

稲積：その年の前くらいですかね。例の4人の方、発起人の。こういうのを作るからお前も来いって言われて、うちの親父を誘っていただいたんですけども、うちの親父は一度自分でそういう会を起こして潰してしまっているんで、だからみんなの前で顔見せが出来ないと。堂々と出ていくことは出来ないと。だからお前行けって言われて。だから私は平成4年最初から参加させていただいてというご縁がありまして、一番最初は広報から入って。積算とかいろいろ。積算委員会の時が一番大変でしたね。いつも喧嘩でしたから。なんでそんな値段にするとか。まともじゃなくて大変な思いをしました。



江島産業(株) 稲積雄司氏

清水：積算部にはどのような方がいました？

稲積：積算部にはコーリングの専務さんだった井谷さん。鵜沢さん、北園さんと一緒でした。

あとは40歳の時に1度目の理事長をやらせていただいて。それから4年やらせていただいた。次の方が1年でちょっと。

コーリング大阪の井谷さんがちょっと体調不良になって。途中交代だから経験者が良いだろうと。一番バブ

ルがはじけて大変なときだったんで、どちらかというと苦情処理係でした。若いから言いやすいなにか電話がかかってくると苦情でしたから。どここのだれだれがこんなことをしているみたい。それは協会では取り扱えませんよ、お酒の席で勝手にやって下さいと言った感じで（笑い）協会も当時は大変な時期だった。今と違って。僕はこのごろ凄く感じているのはどこの会に行っても、DCAさんとかJCSDAとか3D工法研究会など、こういう風な交流を、横のつながりも出来て、こういう風に人手不足になることを読んでたのかどうか知りませんが、各社協力し合っていないとやっていけない。建設業自体もM&Aを繰り返していかないと生き残っていけない。分かってらしたのかなと思います。

清水：当時は共通の利害と言っても、やっぱり親分同士はなんだ馬鹿野郎みたいな世界の、やっぱり縄張りを決めてそこから入ってきたら許さないみたいな。よくありましたもんね。

稲積：なにを土方が哲学的なことを語ってるんだみたいに永野さんに食って掛かってる人も何人もいましたけど。でもこういうのを望んでらしたのかなと。今大変な時ですけども何とか。どこの会合に行っても、この間はありがとうございました、といった感じで良い雰囲気、目指したものになってきているのではないのでしょうか。

ただ今凄く大変な時にこれからなっているから、いろいろと考えていかないと、また今の会が存続するように。今素晴らしい方が理事長の方。この会は小澤さんがやられていて3Dは田中君。DCAは下村さん。素晴らしい考え方を持った方たちで何の心配もないし。老婆心ながら言うことも全くないです。

清水：私なんか最初から稲積さんを見ていて、本当に常識と筋道の人。あの頃はだからそういう長老方がおられて、ある面いろんな意味で大変だった。本当に全く違和感なかった。メーカーの勧誘も。あの頃は賛助会員だったでしょうけど。自然の流れだったですよ。今までで一番理事長を長くされているでしょう。

稲積：私と小林さんが7年ずつ理事長をやった。小林さんも2回目の3年目に体調を崩された。だから8年やった。

清水：それでは次は後藤社長をお願いします。

後藤：ではまず自己紹介から。私は母が早くに亡くしたので、父が小学校くらいから会社に連れてきて、とても今の会社を身近な存在に感じていました。中学校からは名古屋から離れていたんで、就職してからも名古屋に戻ってこないでいこうかなと思いましたが、いろいろとあって東海カッターに戻ってくることになりました。父も戻ってくことを望んでいたかというところという事はないと思いましたが、実際戻ってきて、最初は大阪のコンクリートコーリングさんに3カ月ほど、その後、東京のコンクリートコーリングさんに半年くらいお世話になりました。そこでいろいろな方と出会って、とてもいい関係で今も仕事をさせていただいています。また、この業界を意識したのは、うちの父も、永野さんや川嶋さんと昔から仲良くさせていただいて、私が小学生のころから何回かお会いさせていただいたりしたところでしょうか。東海カッターに戻ってくると、父とはぶつかる日々だったのですが、私に子供ができた頃から父も、「もうすべてお前に任せるからやっていけ」と言われるようになりました。協会に対しては、父は、JCSDAの方は稲積さんもうらっしゃいますし、他の団体も上手に付き合っていないので、あまり真剣に取り組まなくていいと言っていたので、私としてはとても楽でした。父があれば一生懸命やった協会に対して私はやらなくていいといった理由はよくわからなかったのですが、地元にあまりつながりのない私が会社



東海カッター興業(株) 後藤諭氏

をやっていくに当たって、地元にしっかりと根を張らないといけないということを父は言いたかったのではないかと今では思っています。今日はこのよう場（座談会）にお招きいただけると、皆様に教えていただきながらしっかりとやっていくしかないなとあらためて思いますので、よろしくお願いいたします。

清水：東京にいたころは銀行だったんですか。

後藤：社会人になってから東京にいたのはコンクリートコーリングさんの東京にいたときです。もともとは東京で就職したくて銀行に勤めたのですが、たまたま配属が名古屋になってしまっ。この業界に入ってからすぐに父がコーリングさんに勉強に行っ。てこいと言われて、コンクリートコーリングさんの大阪に2ヶ月くらいとコンクリートコーリングさんの東京に半年くらいいました。



座談会風景

清水：我々のメーカー関連だね。後藤親子はとにかく頭がいい。

そういう評判がいっぱいあってね。まあたしかに頭はいいよね。某有名な大学を出られて。

後藤：うちの父が永野さんたちと一緒に第一カッターをやり始めた話をするんですけど、よくやったなど。当時のベンチャーみたいな感じだったのかなという感じが正直あって。よくそこに入ったなど。そういうキャリアだったらもっと違う人生があったのではと。父に対してはそう思うし自分 に対してもそう思う時がありますし、周りの人もそう思うのかなと。

清水：元々会長が永野さんとなんかの知り合いだったんですか。

後藤：父が学生時代に代議士の先生の書生のようなことをしていたときに、永野さんや川嶋さんと出会ったと聞いています。だから、昔、第一カッターさんの名古屋営業所としてスタートしたと伺っています。トラックの色もほぼ同じです。会社の古い資料を見ているといろいろとでてきて面白かったです。

稲積：僕が聞いた話ですと、すごい大学の面々、永野さんなり川嶋さんなり、渡辺さんなり、石川さんなりの話を聞く限り、永野さんがカッターという機械を見て、これは絶対面白い、この機械を使ってこのメンバーなら一部上場企業に出来る、ともうその時に決めていた。その当時から（一部場が）目標だった。

後藤：第一カッターさんが上場して、業界のトップとしてああやってひな壇に上がっていたことが業界として嬉しくはある。

稲積：そのメンバーなら出来ると思っていたようですね。

清水：永野さんがすごい勉強されている、ブレードなどはメーカーよりも詳しい。そこでワイヤーソーと出会って、これは面白いぞ、これでもう一花咲かせるぞと。丁度カッターの売上が5年くらい下がっていた時期で。

後藤：それはすごく大変でしたね。

稲積：そのころは自分で考えても特許を取るという考えが頭になかった。僕らの業界は。今は考えたら取ってしまわないとあれですけどね。

久保：業界的にはワイヤーのこともありますが、特許をとり、がんじがらめで仕事が出来なくなって、そこから意識して各社が特許をとられるようになっていった。

稲積：ゼネコンさんではやっぱり知的財産部門をちゃんと作って特許武装するようになりましたもんね。

久保：しかし抱え込む特許というのは広がらないので、そういう意識で広くつかうという展開がないとああいう形になる。

稲積：僕らコンストラクターが既得権益として儲けようとしても絶対上手くいかない。ましてはグループでというとなおさら上手くいかない。

清水：それでは河合さんお願いします。

河合：第一カッターに1999年、29歳のときに転職しました。その前は建築の仕事をしていたんですが全国に半年単位で行って、結婚していたが家にほばいなかった。仕事してお金を貰って家にいない自分って何なのかなあとあるとき思っ

て。1人目の子供はいたんですけど、2人目の子供がなかなかできなくて、月に1回しか帰れず、あるとき転職を決意した。私は家が千葉だったので千葉から通えるところをまず選択肢の一つにしました。



(株)ウォールカッティング工業 河合信明氏

建築の仕事をやっていたのでCADとかやっていたので、CADとかの仕事でいろいろ計画するののひとつ仕事として良いのではないかなと。第一カッター東京営業所だと思いますが、計画室の募集だったんですね。そこに私実は応募しましてなんと落ちて

久保：落ちたのですか。

河合：あのとき本社で人事の方から、落ちただけど・・・っていう電話を一本いただきまして千葉に営業所があるということで、そこで営業をやらないって言われたんですね。あまり営業って自分の中ではどうかなって思っていたんですけど、家から近いし良くなって安易な考えで第一カッターに就職しまして。

そのとき29歳で、本当にどれだけ続くかわからない感じで実は働いてまして、研修2週間で、カッター1週間、コア抜き1週間で社員の方と一緒に現場に出ていきまして。それまではそもそもカッターも業界も知らなかった。ただその計画室CADでいろいろ計画するっていうのだけに良いなあって思って応募しただけなんで。その他にもその時丁度、設備会社とか何社も受けていて、内定をもらったんですけど、最終的には千葉で近くで良いかなあって安易な考えで転職しまして。で千葉営業所に入って営業初めてだったんですけど、本当に初めはすごく大変で。聞いている話と大分差異がありまして。それこそ本社の人事の方は土曜日なんかは半日で終わるんじゃないかと言われて、行ってみたらそんなことあるわけじゃないんですか。随分と適当なことを言うなと思いつつ。ルートセールスみたいな感じだよと聞いていた。そしたら全然違うんですね。初めはやってってくれて言われたのがコンサルと設計事務所、役所、労務事務所で営業だって言うんですよ。売上なんか立たないじゃないですか。ただひたすら訳わかんないままやりましたね。こんな仕事ないなって、きついなって思いました。本当正直これ辞めるかもって思いながらやってみて。ある時、鉄道の仕事を担当することになりました。その時は第一カッター自体も鉄道の仕事は殆どやっていなくて。それこそ新規だったんですけども自分はそこしかないんで。あの鉄道の仕事って公共工事じゃないので、ひたすら千葉県内を車で移動して。現場があったら飛び込み営業して。ていうのを29歳。1、2年くらい毎日だった。それこそ第一カッターの高橋さん、今会長になりましたけど、やるきあんのって言われたことがあるんですね。千葉だったんで。あるとき2人きりの時にですね。私の方が年齢が1つ上なんで。そんなのが1、2年。正直、車だったんで行くところが無いので行くとこないなーと思いながら携帯も持たされてなかったと思うんで、本当やる事がなくてボーとしていた日々が大分ありました。ただそれでは厳しいので、ある時鉄道の仕事をやれてと言われて、やり始めたらどんどん数字が上がるようになって、今まで

行ってなかったんで。多分それこそ東京のコーリングさんとか第一ダイヤさんとかが結構やってたイメージ。たまたま知り合った方が凄くいい方で一回仕事させてもらったら、どんどんどんどん紹介していただいて。あるとき1社なんですけど千葉県内は99%私だったなみたいな。そういう風になるようになりまして。でそんなことをいろいろやってたのが29歳から37歳くらいの時。あるとき今はいないんですけど片岡さん。丁度本社で管理本部の部長で役員をやっていたんですけど、私の携帯に電話がかかってきて。37歳の時。M&Aするかもしれないからと電話で言われ、その時はどことも言わず、ただM&Aするかもしれない。自分がおそらく社長をやるから河合お前営業の担当で来てくれと言われた。その時私もカミさんにも相談せず、携帯でその場でわかりましたと言っちゃった。あんまり考えてなかったんですよ。私は好き嫌いが無かったんで。そのとき片岡さんが所長のとき数字が上がってたんで、結構好き放題やらせてもらった。あんまり細かいことを言われず日報書なくても何とかなって。どこに行くかもわからず。楽な感じで返事をしまして。夏少し前に愛知に行くと言われた。それで一緒に行った。そしたらウォールカッティング工業なんだということで。37歳の時にウォールカッティング工業に行きまして。第一カッターは上場していたから社内のことが整備されていた。ウォールカッティング工業はなにもないんです。例えば売り上げの上げ方も違ってました。売上は請求して入金が入ったら売上みたいな。第一カッターは当然仕事したら月末に締めて、売り上げを計上する。

あの時も業績が良くなかったことと、社員みんながいろんなことを変えようとしたんで、やっぱり凄く違和感を感じたんでしょうね。なんにも出来てないものを第一カッター流を全部持ってきて、全部きっちりやろうとしたっていうのが。で最終的には無理だなって片岡さんは12月に辞めるって言われて。

そのとき私1年後で38歳だったんですけど。だれか後任の人が来ると思ったら、そしたら後任人事来ないからお前頼んだぞと言われた。鈴木さんに頼まれた。

私第一カッターの一社員だったんで鈴木さんもそうですし永野さんとか喋る人ってほとんどいなかった。株主総会に永野さんが来てくれましたけど、そのとき大体吉川さんが当然一番端の席に座ってる。もう本当に食事が喉を通らない思いで。厳しいことをこうズバズバ言われるじゃないですか。怖い人だなって思いながら。河合専務にすると言われた。ずいぶん簡単に言うなと思った。急に重くなった。それまでは単身赴任で一人で来ていたんですけど、会社の社長は吉川さんに月に1回来ていただいて。千葉って結構不便で大体名古屋から3時間ぐらいかかるんですよ。それを行ったり来たりは出来ないんで。もうそうなった時点で、私的には第一カッターから出向だったんですけど、あ、これ辞めなきゃだめだなって自分で決意して、第一カッターに春で辞めるということと、家族を呼んだ。迫られるというより自分良く分かんないやばいなみたいな。大変だったけど、なんか目まぐるしくてあんまり自分の中では、苦労したというよりは迫られてやらないといけなからやって当たり前という感じだった。一瞬で時が過ぎたような感じがした。17年たった。第一カッターには出向で来ていたので10年しかいなかった。こっちのほうが長くなっちゃって。

清水：ありがとうございました。

業界の取り組みと今後の展望

清水：それでは、それぞれの皆さんが今後の後進に関する取り組みや会社に対する取り組みについてお話をお願いします。

河合：我々の業界だけではなく、建築業は人が決まらない、高年齢化、凄く問題。みなさん凄く苦勞されていると思う。この業界はAIではできないのではないと思う。結局は人がやらないといけ



座談会風景

ないことが凄く多いので、会社としては人をいかに対応して定着させるか、それが将来存続できることになるのではないかと意識し始めた。今第一優先でやっているのは人の採用。ここ

清水：もしかしたらAI、ITが進んでいくとどんどん人間がかかわる仕事はなくなる。ところがこの仕事は人間がやらないといけない部分が結構ある。だから逆に人材が戻ってくるのではないかと希望的観測もある。男性だけではなく女性も。女性でも出来るようなことがありますよね。とにかく業界全体がとにかくリクルートをどうするか。業界全体が浮上していかないといけない状況がある。これは施工会社だけでなくメーカーもそう。とにかく人が来ない。

河合：建設業は人工で仕事をせず、施工の出来高でお金をもらって、極端に言うとな人でコンクリートカッターで切ったら平気で何十万と稼ぎが行く。普通の商売ではないと思う。施工単価を上げていけばもっと良くなると思う。

稲積：ウォールソーもワイヤーソーもチームでやる仕事だし、画一的なところがある。カッターはこれだけ切って、切り終わったら帰ってねとやり逃げみたいな。手離れがいいから上手にやれば一番儲かる。だけど今の世の中は現場をちゃんと管理できる会社じゃないと仕事はもらえないので、人もお金もかかる。いろんな免許を持たないと出来なくなる。3年間は一人で仕事ができない縛りになってしまう。先ほど河合さんに仰ったとおり、今一番できていないことが人の手配。このまま朽ち果ててしまう



江島産業(株) 稲積雄司氏

のではないかと。東海さんが人事部を作ってリクルートにお金と時間をかけてしっかりとやっていращやる。うちもやらなければならないと遅ればせながらやっている。東海さんの担当の方にきいたらとにかく時間とお金をかけることですよ。本当にポツンポツンとしか人が入ってこないし、入ってきてもやめてしまう。リクルートに時間とお金をかけて力を入れないと、きちんとした人は入らないし、入ってもやめてしまう。今河合さんが言われたことがこの業種で一番大切なこと。

清水：後藤社長のところには何人か入られているのではないですか。

後藤：うちの社員にも言っているのです。ゆっくり育てれば、普通に良い。29歳くらいで一人前になってもらえれば。長い目で見れば、いろんな人が来ますし。オーナー企業であるが故の先行投資というか。収益とかそういうのを度外視できる面もある。

久保：投資ということですか。

清水：後藤社長で印象的なことが、会合に色々な人を連れてくる。国際会議に女性を2名連れてきたのを見た時に本当にびっくりして。聞いたら色々なものを見せて経験して欲しいと仰っていた記憶がある。

後藤：これからの建設業の担い手は誰なのか。日本人の若い子なのか、外国人なのか、自分はまだ迷っています。そしてさっき話に出たAIによる自動化も諦めてはいけない。そういう最先端のところは業界の盟主として第一カッターさんやコンクリートコーリングさんにやってほしいという思いもあります。当社は地元で生き残っていかないといけないので、この地元の若い人たちになんらかの仕事をさせていきたいと考えています。

清水：結局今後の展望というリクルートになっちゃいますね。

稲積：今の仕事を地道に続けるにしても、他の仕事をするにしても人がいないとできない。机の上でコンピュータや複合機があれば出来る仕事もあるが、僕らのやっている仕事はなくなるとは思えない。

JCSDAに対しての要望、期待

久保：先ほどリクルート問題についてはお話をききましたので、最後にJCSDA に対して今後の展望、要望をお聞かせください。

後藤：JCSDAにはあまり関わっていないので何とも言えません。基本的に業界の利益を求めていくのはこういう団体は難しいと思います。それよりも業界のマイナスというか、不利益をなくす消す努力をした方がいいと思います。私たちが日頃面倒と思っていることは共通の問題なので、みんな解消することに納得してくれると思います。でも単価を一緒に上げていこうとかそういうことは各社の事情や都合もあるので、難しいと思います。カッターだったら単価は5cm刻みにして間の端数はなくしていきましようとか、法定福利費の付け方だとか。そういうやり方をを統一していった方が余計な心配をしなくていいし、建設的な話ができると思います。安全衛生の資料つくりとか労務調査の回数を減らせとか、そこは協会としていいやすいのではないのでしょうか。



東海カッター興業(株) 後藤論氏

久保：とても重要なことをおっしゃっている。

後藤：人材育成に関するノウハウがないので安全ビデオがあるとか協会の歴史を話してくれるビデオがあるとか。そういったものがあれば人材の定着にプラスになる。そういうのは協会にやってほしいと思う。

久保：非常に貴重なご意見でした。続いて河合さんお願いします。

清水：まずは河合さんのところが正会員に入ってもらって。メーカーとしてはウォールさんが正会員でないのは若干居心地が悪い。イメージとしてウォールカッティングという会社は今は第一カッターの下にあるかもしれないけど、やっぱり協会が出来た時の創設のメンバー。吉川さんからね。だからまして今河合さんが社長になってすごい良い会社になっているんだから。まずは正会員になってもらおうかと前向きに考えてみてください。

河合：JCSDAにあまり関連していないんですが、うちもご案内いただいて、今のワールドオブコンクリートが復活したじゃないですか。今回も2名参加させていただきますが、ちょっと費用が高い。契約の問題があって仕方ないが。そこがどうかというのがある。あとは期限も短い。案内をしていつまでというのが。おそらくですけどスピーディーにできないところはたぶんもういいやってお断りしていると思う。私も行ったがあ

の会はすごくいいと思った。業界のいろんな会社とお会いして約1週間コミュニケーションがとれる、ライバル会社かもしれないけどあの場はそうじゃなかった。

清水：なかなかそういった機会はない。

河合：そういった意味ではもう少し参加者を増やせるようにしていった方がより会として良いと思う。

久保：それでは稲積さんにはJCSDAのことでもそれ以外でもなんでも良いので要望をざっくりばらんに

稲積：業界のことを考えれば。手を組んで単価を上げようとか儲けようとかではなくて、だけどやっている仕事に対しての単価はちゃんと評価されて貰わなければならない。社員にちゃんとした対価払ってあげられるようにしないといけない。元請けには提示している単価に対して、これだけかかるもしっかり根拠を出さないといいなくなっている。

つい先週、組合の会合があった時に大阪の田中さんが演説する時があって、やっぱりかっこよくないと若い子は来てくれない。かっこいいというのはお金が掛かる。

久保：お三方とも違う角度から本当にためになるお話をいただきました。折角今日はメーカーの人間が新しいメンバー（コンセック：国司、仲山鉄工：仲山）として参加しておりますのでメーカーに対する要望とかあればお聞かせいただきたい。

後藤：特になのですが、機械については、こういうことを将来したいというメーカーの方向性を鮮明に出していただいて、我々は将来こういう機械を作りたいから東海カッターさん、こういうことを手伝ってほしいという関係になるとすごくやりやすいですね。

久保：貴重なご意見ありがとうございました。つづいて河合さん。

河合：材料の価格競争をすべきじゃないと思っている。施工費の中で材料費はたかがしれている。それだったら価格競争ではなくて、質の高いものを作っていただいてそれを提供してもらった方がいいかなと思う。

久保：メーカーとしては一番耳が痛い話。

河合：よく切れてライフが伸びて。切れないうちの社員は使わないですから。いい製品を作ってきちんと値段を上げていっていただければと思う。



(株)ウォールカッティング工業 河合信明氏

久保：稲積さんは例会総会のときにメーカーにご助言いただいている。メーカーに対してもきちんと目を向けて頂いている。協会が施工会員だけの会じゃないとメーカーに対しても言っていたらいい。

清水：ここ最近はやっとメーカーと施工会社さんが対等になれた気がする。

稲積：我々は今とても素晴らしい関係になった。発起委員会の方々がいった状態にきちんとなっている。俺が俺が、うちの会社がということではなくて。そもそも私と後藤社長と河合社長がこうやって一緒に席にいること自体がJCSDAの出来る前ではありえない。うちの親父と後藤社長のところの会長と一緒にお酒を飲んでいるということがあり得なかった。昔に大きな現場を一緒にやったことがあったが、お互いに絶対に負けるんじゃないぞと言っていた。

清水：まあそうですね。

稲積：そんな状態だったのに今はこういった関係になれた。本当に素晴らしいことだと思う。

久保：ありがとうございました。

長時間に亘り、大変お疲れ様でした。以上で座談会終了とさせていただきます。大変ありがとうございました。

今回も18時に集合いただき、色々な話題でお話し頂きました。経営者、経営幹部の方々の多彩な経歴と様々な取り組みからこの業界の事を深く考えられておられる事が良くわかりました。時間は十二分にとりましたが、前半からかなりの話題量で時間内に収まりませんでした。また紙面編集の都合にてかなり割愛せざるを得ず、内容を絞り込み、記事を纏めさせていただきました。貴重なお話を全て掲載出来ず、申し訳ございません。

出席の皆様、本当にお忙しい中ご協力ありがとうございました。次回以降はまた別の企画を検討中ですので、会員各位色々ご協力の程、宜しくお願い致します。

広報委員会



全員で記念写真

(後列左より) 落合事務局員 国司委員 仲山委員 清水委員 久保委員長
(前列左より) 河合信明氏 稲積雄司氏 後藤諭氏

【施工計画の手引】掲載のお知らせ

フラットソーイング工法	(第25版)
コアドリリング工法	(第25版)
ウォールソーイング工法	(第25版)
ワイヤーソーイング工法	(第17版)
乾式コアドリリング工法	(第10版)
乾式ウォールソーイング工法	(第10版)
乾式ワイヤーソーイング工法	(第10版)

令和6年7月1日に内容を更新改訂致しました。

当協会ホームページに掲載しておりますので、皆様、是非ご活用下さい。

内容に関するご質問お問い合わせ等は、協会事務局にご連絡下さい。

調査委員会 委員長 砂川 高寛

JCSDA 事務局便り

◆会員移動

1) 施工会員	: 34社	入会: なし	退会: なし	休会: 1社
2) メーカー会員	: 13社	入会: なし	退会: なし	
3) 友の会会員	: 42社	入会: なし	退会: (株)センチュリー興業	

◆会員募集: 詳しくは事務局までご連絡下さい。入会申込書をお送りします。

	正会員			友の会会員
	施工会員年商2億円以上	施工会員年商2億円未満	メーカー会員	
入会金	10万円	10万円	10万円	なし
年会費	20万円	15万円	20万円	2万円

◆会員情報

代表者変更	なし
社名変更	なし

*お願い: 会員各社様の各種情報(代表者・所在地・TEL/FAX番号等)変更の場合には、その都度必ず当事務局宛ご一報を下さいます様、お願い致します。

◆総会・例会開催予定

第33回定時総会第74回例会 アートホテル日暮里(東京)にて令和7年5月21日(水)開催予定。
詳細は事務局よりご案内させていただきます。

◆事務局より

毎週月曜から金曜(9時30分~16時30分 土日祝休み) 落合事務局員が常勤しております。
何かございましたらご連絡をお願い致します。



施工会員 34 社 (北より地域順)

会社名		所在地	電話番号	FAX番号
(株)エジマ	〒078-2600	北海道雨竜郡雨竜町字満寿36-9	0125-79-2011	0125-79-2012
(有)栄進カッター工業	〒003-0869	北海道札幌市白石区川下2065-2	011-873-6908	011-873-6909
第一建興江島(株)	〒065-0023	北海道札幌市東区北二十三条東18-2-3 2F	011-751-0410	011-771-6361
東北カッター(株)	〒038-0021	青森県青森市大字安田字若松60	017-766-9230	017-766-9244
井上工業(株)	〒991-0066	山形県寒河江市松川120	0237-83-4050	0237-83-4051
(株)バステムサービス	〒342-0036	埼玉県吉川市高富大場川1059	048-983-8560	048-983-8570
コンクリートコーリング(株)(東京)	〒177-0054	東京都練馬区立野町16-12	03-3928-3023	03-3929-8997
小笠原興業(株)	〒177-0044	東京都練馬区上石神井1-41-2	03-3928-1514	03-3928-1508
第一ダイヤモンド工事(株)	〒157-0067	東京都世田谷区喜多見3-14-27	03-3417-1911	03-3417-3777
(株)ダイイチ	〒157-0067	東京都世田谷区喜多見5-1-7	03-3416-0411	03-3416-0412
(株)シンワダイヤ	〒116-0014	東京都荒川区東日暮里1-27-10	03-5850-6200	03-5850-6201
(株)丸辰道路工業	〒224-0043	神奈川県横浜市都筑区折本町338	045-476-4012	045-476-4013
浜田工業(株)	〒226-0026	神奈川県横浜市緑区長津田町4805	045-921-6500	045-921-2420
第一カッター興業(株)	〒253-0071	神奈川県茅ヶ崎市萩園833	0467-85-3939	0467-88-0567
中央総業(株)	〒252-0303	神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1 4F	042-765-5500	042-765-2822
(株)D-1	〒940-1104	新潟県長岡市摂田屋町2701-13	0258-89-7685	0258-89-7686
東海カッター興業(株)	〒462-0017	愛知県名古屋市中北区落合町135	052-901-4811	052-901-4812
江島産業(株)	〒457-0003	愛知県名古屋市中南区鶴田1-5-13	052-821-9305	052-821-9339
コンクリートコーリング(株)(大阪)	〒534-0001	大阪府大阪市都島区毛馬町5-15-28	06-6924-4517	06-6928-1263
(株)ティ・ビー・シー・ダイヤモンド	〒587-0011	大阪府堺市美原区丹上321-2	072-363-4145	072-363-4146
(株)日本コンクリートカッティング	〒578-0921	大阪府東大阪市水走5-5-50	072-960-5910	072-960-5911
(株)丸辰道路工業(大阪)	〒581-0054	大阪府八尾市南亀井町2-4-51	072-923-7579	072-923-2499
北辰工業(株)	〒570-0032	大阪府守口市菊水通4-12-15	06-6997-2426	06-6997-2429
(株)佐藤工業	〒653-0805	兵庫県神戸市長田区片山町5-11-24	078-612-0413	078-612-0421
(株)中国カッター鳥取	〒680-0905	鳥取県鳥取市賀露町129-2	0857-28-9808	0857-28-9815
(株)コンセック	〒733-0833	広島県広島市西区商工センター4-6-8	082-277-5452	082-278-6389
瀬戸内カッター工業(株)	〒799-1533	愛媛県今治市国分2-9-37	0898-47-4100	0898-47-3040
(株)リュウキ	〒807-0852	福岡県北九州市八幡西区永犬丸西町4-20-28	093-601-6777	093-601-6888
九州ダイヤモンド工事(株)	〒814-0174	福岡県福岡市早良区田隈2-23-6	092-864-7600	092-864-7638
(株)コムカット	〒811-1314	福岡県福岡市南区の場2-21-1	092-571-1971	092-585-5647
(株)センター機材	〒812-0894	福岡県福岡市博多区諸岡5-1-8	092-591-2828	092-591-3078
ダイヤモンド機工(株)	〒814-0143	福岡県福岡市城南区南片江2-30-21	092-801-0011	092-863-5707
(株)旭工業	〒885-0004	宮崎県都城市都北町1715-2	0986-36-6650	0986-36-6651
(株)西部システム	〒899-4346	鹿児島県霧島市国分府中町26-33	0995-46-9015	0995-46-9016

メーカ会員 13 社 (50 音順)

旭ダイヤモンド工業(株)	〒102-0094	東京都千代田区紀尾井町4-1	03-3222-9299	03-3222-6530
エービーイーダイヤモンド(株)	〒358-0014	埼玉県入間市宮寺2595-7	0429-34-3110	0429-34-3169
(株)クライム	〒146-0081	東京都大田区仲池上1-29-3	03-3753-2014	03-3753-2229
サンゴバン(株)	〒298-0106	千葉県いすみ市須賀谷74	0470-86-3011	0470-86-3677
(株)シブヤ	〒738-0021	広島県廿日市市木材港北5-86	0829-34-4507	0829-34-4508
D A S (株)	〒140-0004	東京都品川区南品川2-2-15	03-5461-7501	03-5461-7525
仲山鉄工(株)	〒426-0055	静岡県藤枝市大西町3-14-1	054-635-1383	054-635-0418
日本ダイヤモンド(株)	〒224-0054	神奈川県横浜市都筑区佐江戸町686-1	045-939-3001	045-939-3003
日本ヒルティ(株)	〒224-0037	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	045-943-6258	045-943-6234
(株)ノリタケマシンテクノ	〒202-0014	東京都西東京市富士町2-13-17	0424-61-5175	0424-61-6310
ハスクバーナ・ゼノア(株)	〒350-1165	埼玉県川越市南台1-9	0570-666-778	0120-365-295
ピースダイヤモンド工業(株)	〒224-0026	神奈川県横浜市都筑区南山田町4145-2	045-593-1271	045-592-2494
理研ダイヤモンド工業(株)	〒116-0002	東京都荒川区荒川1-53-2	03-3805-3471	03-3805-2434